

分野	授業教目名	単元名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野 I 基礎看護学	看護基本技術 I	感染予防	1	8/30	1年次前期	吉岡 由里香

テキスト(発行所)	基礎看護技術 I (メヂカルフレンド社)
テキスト以外の教材、参考図書	看護技術プラクティス (学研)

学習のねらい	今日の医療現場では、様々な治療・処置により患者の免疫機能は障害され、感染しやすい状態にある。また、感染の原因となる病原菌が濃厚に存在している可能性も高い。そういった患者に接する機会の多い看護者は感染に関する基礎的知識をもち、原則に基づいた行動をとらなければならない。ここでは対象・看護者にとっての感染予防の意義と原則を理解し、感染予防の方法を学ぶ。
--------	--

学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染・感染予防対策の基礎知識を理解する。</li> <li>2. 感染予防における看護者の責務と役割を理解する。</li> <li>3. 手洗い、ガウンテクニック、無菌操作の技術の目的・方法の根拠を理解し、習得できる。</li> <li>4. 感染した対象に対する精神的援助の必要性が理解できる。</li> <li>5. 日常生活、看護の場面の中での感染予防に対する意識を高める。</li> </ol>
------	---

#### 学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	感染・感染予防の基礎知識	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染とは</li> <li>2. 感染予防の意義</li> <li>3. 感染の成立および感染予防の原則と方法               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 感染の成立因子</li> <li>2) 感染予防の原則</li> <li>3) 感染予防の方法</li> </ol> </li> <li>4. 感染予防対策               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) スタンダードプリコーション</li> <li>2) 感染経路別予防策</li> <li>3) 院内感染予防のための管理体制</li> </ol> </li> <li>5. 感染予防における看護師の責務と役割</li> </ol>	講義
2回	感染予防の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染源への対策               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 滅菌・消毒の意義</li> <li>2) 滅菌・消毒の方法</li> </ol> </li> <li>2. 感染経路の遮断               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 手洗い</li> <li>2) 隔離法</li> </ol> </li> </ol>	講義
3回	感染予防の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>3) 無菌操作               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 撮子・鉗子の取り扱い</li> <li>(2) 滅菌物取り扱い</li> <li>(4) 感染性廃棄物の取り扱い</li> </ol> </li> <li>3. 個体の抵抗力の増強</li> </ol>	講義
4回	感染予防方法の実際	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 手洗い</li> <li>2. 个人防护用具の使用法</li> <li>3. 滅菌物の取り扱い</li> </ol>	演習

単位認定の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーション技術・看護記録と合わせて30時間中24時間以上の出席があること</li> <li>2. コミュニケーション技術50点、感染予防筆記試験25点、看護記録25点で合計100点満点60点以上を合格とする。</li> <li>3. 上記の条件を満たしたものは看護基本技術 I の単位を1単位取得できる。</li> </ol>
---------	---

受講上のアドバイス	感染予防は、目に見えない菌やウイルスから患者と看護者を守るための大切な看護技術です。第4回の演習は第3回の講義を踏まえての演習です。演習での学びは、これからの実習や現場で看護師として働く時に必ず役立つことでしょう。感染予防の実際は理解しながら演習がすすめられるよう臨んでください。
-----------	--